

科目名	フランス文化概論Ⅱ						
英語科目	ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照					
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	松田 真里						

授業概要／Course outline

19世紀末から20世紀のフランス文化の展開の理解を図り、その発展の理由を考察することで、グローバルな視点からフランス文化の特性を考えます。

20世紀フランスを代表する建築、文学、絵画、舞台芸術、ファッションなどを取り上げながら、その特質を明らかにしていきます。第一次世界大戦が始まる前の美しい時代（ベル・エポック）から、大戦間の狂乱の時代（レ・ザネ・フォル）を経て、第二次世界大戦後までを扱います。

パワーポイントを用いた講義で、学生による発表を中心に進めます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／プレゼンテーション）
基本的にひとり一度は個人による発表を行ってもらいます。
メンバーによってはグループワークも行ってもらいます。
- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
MoodleおよびZoomによる動画配信を行います。

授業内容・授業計画／Course description・plan

20世紀フランスを代表する建築、文学、絵画、映画、ファッションなどを取り上げながら、その特質を明らかにしていきます。第一次世界大戦が始まる前の美しい時代（ベル・エポック）から、大戦間の狂乱の時代（レ・ザネ・フォル）を経て、第二次世界大戦後までを扱います。

パワーポイントやDVDなどを用いて、学生による発表を中心に講義を進めます。毎回授業中に書いて授業の終わりに提出するアンケートの内容の一部は授業で紹介し、問題意識を共有します。

第1回： イントロダクション

授業のスケジュールを確認し、この授業での到達目標や身につく力について説明をしたあと、基礎となる導入部分について学習を行います。

★オンデマンド回：フランス文化の魅力

フランス文化の魅力について、視聴覚資料を使用した授業を通して解説を行います。フランスの文化への関心を広げることが目標にしています。

オンデマンド資料は第1回授業終了後、moodleおよびzoomを使用して配信します。

第2回： ベル・エポックのパリ

19世紀末から第一次世界大戦前にかけてのフランスの歴史について学んだあと、広告、建築、ファッションにおけるアール・ヌーヴォーについて理解します。

第3回： マルセル・プルースト『失われた時を求めて』(1)

プルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、ベル・エポックの時代について改めて考えます。シャンゼリゼ通りやオペラ座についても取り上げます。

第4回： マルセル・プルースト『失われた時を求めて』(2)

プルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、19世紀末から20世紀初頭のフランスにおいて重要であった無意識の問題について改めて考えます。

第5回： マルセル・プルースト『失われた時を求めて』(3)

プルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、フランスにおける香りの文化、お菓子や料理の歴史とその発展について考えます。

第6回：フランスにおける舞台芸術 【「教員-学生間の対話シート」の実施】

アール・ヌーヴォーの復習をしたのちに、悲劇女優として活躍したサラ・ベルナールや当時の劇場の事情を取り上げます。フランスにおけるバレエの歴史について概観したのち、とりわけバレエ・リュスについて取り上げます。

第7回：女性と教育の問題

第三共和政期における教育の問題と同時代の女性たちの教育について概観します。同時代の科学の発展、動物愛護について、またパリの重要な文化施設である動植物園や水族館についても触れる予定です。

第8回： エコール・ド・パリとキュビズム

アール・ヌーヴォーの復習をしたのちに、第一次大戦後の広告、建築、ファッションにおけるアール・デコの比較検討を行いながらパリ文化を理解します。パリで活躍したモディリアーニ、藤田嗣治らエコール・ド・パリと呼ばれた画家たちと、パブロ・ピカソやジョルジュ・ブラックらキュビズムの創作活動について学びます。

第9回： ココ・シャネルとスキャパレリ

第一次世界大戦中、戦争後に活躍した女性ファッション・デザイナーのココ・シャネルの生涯を確認します。そしてライバルとされたエルザ・スキャパレリと比較しながら、彼女のつくったデザインの魅力について考えます。

第10回： レ・ザネ・フォルと対戦間のシュルレアリスム

第一次世界大戦後に起こった芸術運動シュルレアリスムの誕生した歴史的・文化的な背景を学びます。シュルレアリスムは1930年代には様々な国に飛び火し、国際的な運動になりました。

第11回： 対戦後のフランスのモード

フランスのファッションの歴史において重要なデザイナー、クリスチャン・ディオールとイヴ・サンローランについて紹介します。

第12回： フランスの哲学

フランス哲学の特徴とその影響を、ジャン＝ポール・サルトルやアルベール・カミュの実存主義を中心に解説し、この時代の哲学がとりわけ文学と密接に結びついていることを紹介しながら、フランス哲学の影響や発展、その魅力について考えます。

第13回： フランスと異文化へのまなざし

フランスにおけるオリエンタリズムについて取り上げる。また、パリのケ・ブランリー美術館/博物館におけるモダン・アートと「異文化」展示の問題についても取り上げる。

第14回： 論述試験と解説 【「学習成果実感調査」も行います】

論述試験を行い、その後解説をして、授業のまとめをする。

* 内容は受講生の要望や授業の進捗に応じて変更することがあります。

事前・事後学修/Preparation and assignments

第1回： イントロダクション

[事前学習] この授業を履修する理由を説明できるようにしておく

[事後学習] イントロダクションで言われたことを整理しておく

★オンデマンド回

[事前学習]：事前に配布する資料や参考文献リストに目を通し、フランス文化への関心を深めておく

[事後学習]：オンデマンド資料を視聴後、授業に関するレポートを提出する

第2回： ベル・エポックのパリ

[事前学習] 20世紀初頭のパリに関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

[事後学習] ベル・エポックの文化の特徴をまとめる

第3回： マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』(1)

ブルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、ベル・エポックの時代について改めて考えます。シャンゼリゼ通りやオペラ座についても取り上げます。

[事前学習] 配布資料をダウンロードし、目を通しておく

[事後学習] マルセル・ブルーストについて学んだことを整理する

第4回： マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』(2)

ブルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、19世紀末から20世紀初頭のフランスにおいて重要であった無意識の問題について改めて考えます。

[事前学習] 配布資料をダウンロードし、目を通しておく

[事後学習] ブルーストにおける記憶の問題、授業で紹介した同時代の無意識をテーマにした作品について学んだ

ことを整理する

第5回： マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』（3）

ブルーストの小説『失われた時を求めて』のいくつかの場面を読みながら、フランスにおける香りの文化、お菓子や料理の歴史とその発展について考えます。

〔事前学習〕配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕フランスにおける香水の歴史や文化、お菓子や料理の歴史と発展について学んだことを整理する

第6回： フランスにおける舞台芸術 【「教員-学生間の対話シート」の実施】

アール・ヌーヴォーの復習をしたのちに、悲劇女優として活躍したサラ・ベルナールや当時の劇場の事情を取り上げます。フランスにおけるバレエの歴史について概観したのち、とりわけバレエ・リュスについて取り上げます。

〔事前学習〕配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕フランスにおける舞台芸術、とりわけバレエについて学んだことを整理する

第7回： 女性と教育の問題

第三共和政期における教育の問題と同時代の女性たちの教育について概観します。同時代の科学の発展、動物愛護について、またパリの重要な文化施設である動植物園や水族館についても触れる予定です。

〔事前学習〕配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕当時の女性の教育の問題、同時代の知の問題について授業を通して学んだことを整理する

第8回： エコール・ド・パリとキュビズム

アール・ヌーヴォーの復習をしたのちに、第一次大戦後の広告、建築、ファッションにおけるアール・デコの比較検討を行いながらパリ文化を理解します。パリで活躍したモディリアアーニ、藤田嗣治らエコール・ド・パリと呼ばれた画家たちと、パブロ・ピカソやジョルジュ・ブラックらキュビズムの創作活動について学びます。〔事前学習〕エコール・ド・パリに関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕エコール・ド・パリの画家、キュビズムについて学んだことを整理する

第9回： ココ・シャネルとスキャパレリ

第一次世界大戦中、戦争後に活躍した女性ファッション・デザイナーのココ・シャネルの生涯を確認します。そしてライバルとされたエルザ・スキャパレリと比較しながら、彼女のつくったデザインの魅力について考えます。

〔事前学習〕シャネルとスキャパレリに関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕シャネルのデザインについて学んだことを整理する

第10回： レ・ザネ・フォルとシュルレアリスム

〔事前学習〕第一次世界大戦に関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕シュルレアリスムについて学んだことを整理する

第11回： 対戦後のフランスのモード

フランスのファッションの歴史において重要なデザイナー、クリスチャン・ディオールとイヴ・サンローランについて紹介します。

〔事前学習〕ディオールとサンローランに関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕ディオールとサンローランについて学んだことを整理する

第12回： フランスの哲学

フランス哲学の特徴とその影響を、ジャン＝ポール・サルトルやアルベール・カミュの実存主義を中心に解説し、この時代の哲学がとりわけ文学と密接に結びついていることを紹介しながら、フランス哲学の影響や発展、その魅力について考えます。

〔事前学習〕フランス哲学の歴史に関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事後学習〕フランス哲学とりわけ実存主義の問題について考えたことを整理する

第13回： フランスにおける異文化へのまなざし

フランスにおけるオリエンタリズムについて取り上げる。また、パリのケ・ブランリー美術館/博物館におけるモダン・アートと「異文化」展示の問題についても取り上げる。

〔事後学習〕フランスにおける異文化の問題に関する配布資料をダウンロードし、目を通しておく

〔事前学習〕授業で議論されたことを整理する

第14回： 論述試験と解説

〔事前学習〕これまでの授業の流れを復習する

〔事後学習〕今後自分の知りたいことを考える

* この授業は講義科目ですから、事前学習 2 時間、事後学習 2 時間を想定しています。

授業の到達目標/Expected outcome

グローバルな視点から20世紀フランス文化の特質を考え、人に説明できるようになる。

具体的な到達目標としては

- ・ 20世紀のフランス文化の特質をわかりやすく人に説明できるようになる
- ・ 20世紀のフランス社会の特質をわかりやすく人に説明できるようになる
- ・ 芸術家や作品について書物やインターネットで調査して、わかりやすくレジュメを用いて発表できるようになる
- ・ 20世紀フランス文化の特質について、論理的に人に説明できるようになる

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 専門知識・専門技能
【外国語学部 ヨーロッパ言語学科】
 - ・ 異文化理解
 - ・ 世界情勢と学習言語圏の理解

履修上の注意/Special notes, cautions

積極的な参加を求めます。発表をしてください。

受講態度が目には余ると教員が判断した場合は、減点の対象とします。

特にスマートフォンや携帯をいじっている受講生には退室を命じることがあります。

第一回目と第二回目の授業で、履修の条件について詳しく説明します。どちらも欠席したひとには履修を認めません。

評価方法/Evaluation

授業への参加度（40%）と発表（20%）、期末試験（40%）をもとにして総合的に評価します。

教材/Text and materials

moodleを通じてプリントを配布します。予めプリントアウトするかダウンロードしてから授業に参加してください。参考文献については授業内で指示します。

質問や相談の方法/Instructor contact

授業前後に受け付けます。